

【ブランド USA】

サッカーワールドカップの試合会場となる全米 11 都市で開催される
パブリックビューイングやファンイベント情報を公式サイトにて公開
～日本代表戦の舞台ダラスをはじめ、ヒューストン、ニューヨーク、マイアミなど各都市で
観戦イベントや音楽・アート企画などが開催～

本年 6 月 11 日(現地時間)に開幕するサッカーワールドカップ北中米大会を前に、アメリカ国内 11 の開催都市では、パブリックビューイングやファンイベントの準備が進められ、全米各地で大会開催に向けた機運が一層高まっています。大会期間中は、試合観戦に加え、スタジアムの外でも大規模なパブリックビューイングやコンサート、アート展示、地域コミュニティイベントなど、多彩な関連プログラムが開催される予定です。1994 年のアメリカ大会以来 32 年ぶりとなる今大会では、世界中から集まるサポーターとともに、全米各地がワールドカップの熱気に包まれます。アメリカ合衆国の公式観光マーケティング機関であるブランド USA はこのたび、一般消費者向け公式ウェブサイト「[Visit The USA](#)」において、ワールドカップ開催都市および周辺地域で開催予定のファンイベントやサッカー関連イベントの概要を公開しました。

テキサス州ダラス

日本代表がグループステージ初戦および第 3 戦を戦う開催都市で、準決勝を含む計 9 試合が予定されています。試合会場となるダラス・スタジアム(AT&T スタジアム)は、NFL ダラス・カウボーイズの本拠地として知られる世界最大級のドーム型スタジアムです。大会期間中は、ダラス市内や周辺地域でも、パブリックビューイングをはじめ、ファンイベントやサッカーをテーマにした文化イベントなどが多数開催されます。

■ [FIFA Fan Festival™ Dallas](#)

ダラス・スタジアムから車で約 20 分に位置するダラス市内中心部のフェア・パークでは本年 6 月 11 日～7 月 19 日の全 34 日間にわたり、「FIFA Fan Festival™ Dallas」が開催されます。ワールドカップ開催に合わせて実施される入場無料のイベントで、会場では大型スクリーンでの試合のパブリックビューイングをはじめ、音楽ライブや各国グルメ、サッカーをテーマにした体験型プログラムなどが催されます。

■ [Soccer: More Than a Game](#)

ダラスを代表する観光スポットの一つ、ペロー自然科学博物館では本年 9 月 7 日まで、特別展「Soccer: More Than a Game」を開催中です。有名建築家トム・メイン氏が設計した現代的な館内では、サッカーボールの軌道や選手の身体能力、テクノロジーとサッカーの関係性など、サッカーを科学的な視点から体験できる展示が行われています。

■ [Game Changer: United by Sports](#)

1911年創立の名門校サザン・メソジスト大学のキャンパス内に位置するジョージ・W・ブッシュ大統領センターでは2027年1月10日まで、特別展「Game Changer: United by Sports」を開催中です。メジャーリーグサッカーチーム「FC ダラス」や女子サッカークラブ「Trinity FC」に関する展示をはじめ、全米サッカー殿堂に収蔵されるユニフォームやトロフィーなどを通じて、スポーツが地域社会や人々をつなぐ力を紹介しています。

■ [More Than a Match](#)

ダラス・スタジアムが位置するアーリントン市内のアーリントン・ミュージアム・オブ・アートでは本年8月2日まで、サッカーとサポーター文化をテーマにした特別展「More Than a Match」を開催中です。元ブラジル代表ペレが着用したユニフォームをはじめ、歴代ワールドカップに関する記念品や各国サポーターのマフラー展示、現代アート作品などを通じて、サッカーが世界中で愛されるスポーツとして発展してきた歴史や魅力を伝えています。

テキサス州ヒューストン

日本代表がグループステージを突破した場合、ノックアウトステージ(ラウンド 32)の舞台となる可能性がある都市が、ヒューストンです。試合会場となるヒューストン・スタジアム(NRG スタジアム)は、NFL ヒューストン・テキサンズの本拠地として知られる大型ドームスタジアムです。大会期間中は、市内各地でパブリックビューイングをはじめ、サッカーをテーマにしたアートイベントなども開催されます。

■ [FIFA Fan Festival™ Houston](#)

ヒューストン中心部のシェル・エナジー・スタジアムに隣接する特設エリアでは大会期間中、「FIFA Fan Festival™ Houston」が開催されます。会場では、大型スクリーンでの試合のパブリックビューイングをはじめ、音楽ライブやグルメ企画、サッカーをテーマにした体験型プログラムなどが繰り広げられます。直径約13メートルの巨大ドーム「Esphera」も登場し、スペースセンター・ヒューストンが制作を手掛けた360度映像ショーが上映される予定です。宇宙開発や最先端テクノロジー、サッカーの歴史などをテーマにした特別映像を無料で鑑賞することができます。

■ [Art of Soccer](#)

複合商業施設「POST Houston」では本年9月まで、巨大なサッカーボール型のアート作品「Art of Soccer」を展示しています。地元アーティストがデザインした直径約1メートルのサッカーボールが並ぶ同展示は、ヒューストン市がワールドカップ開催に向けた地域貢献の取り組みの一環として開催されています。収益の一部は、大会後に地域社会への還元を目的としたプログラムへ活用され、青少年支援やサステナビリティ、人権関連施策などに充てられる予定です。

■ [Watch Parties in Houston](#)

ワールドカップ期間中、ヒューストン市内各所で観戦イベントが開催されます。広大な屋外パティオを備えた人気ビアガーデン「Social Beer HTX」、大型LEDスクリーンを備えるスポーツバー「Tom's Watch Bar」、サッカーコートやスクリーンを併設し、地元サッカーファンの交流拠点として親しまれている「Pitch 25」など、市内各地の人気スポットを会場に試合のライブ中継が予定されています。

ニューヨーク／ニュージャージー

今年のサッカーワールドカップの決勝戦は7月19日(現地時間)に、ニュージャージー州イーストラザフォードに位置するニューヨーク／ニュージャージー・スタジアム(メットライフ・スタジアム)で開催されます。同スタジアムは、NFL ニューヨーク・ジャイアンツおよびニューヨーク・ジェッツの本拠地として知られています。大会期間中は、ニューヨーク／ニュージャージーエリア各地でも、パブリックビューイングや音楽・アートプログラムなどが開催されます。

■ [NYNJ Fan Events](#)

ニューヨーク市内5区(マンハッタン、ブルックリン、クイーンズ、ブロンクス、スタテンアイランド)およびニュージャージー州ハリソンでは大会期間中、ニューヨーク／ニュージャージー大会組織委員会主催による公式ファンイベント「NYNJ Fan Events」が開催されます。ロックフェラー・センターやブルックリン・ブリッジ・パーク、USTA ビリー・ジーン・キング・ナショナル・テニスセンターなどを会場に、パブリックビューイングをはじめ、音楽ライブやエンターテインメントプログラム、ローカルグルメなどを楽しむことができます。

■ [Peace Post](#)

セントラルパーク北側に位置する歴史あるセント・ジョン・ザ・ディヴァイン大聖堂では現在、特別展「Peace Post」を開催中です。キング牧師やローマ教皇フランシスコなど、世界各国で平和・人権・環境問題に取り組んできた人物たちをテーマに、100人以上のアーティストによる198点の郵便切手をモチーフにしたアート作品を展示しています。サッカーワールドカップを機にニューヨークを訪れる旅行者に向けて、異文化理解や多様性、国際的なつながりを発信するアートプログラムとして注目を集めています。

■ [For the Win: Objects of Sports Excellence](#)

マンハッタンのアメリカ自然史博物館では現在、スポーツの歴史や栄光をテーマにした特別展「For the Win: Objects of Sports Excellence」を開催中です。サッカーをはじめ、野球、テニス、ボクシングなど15以上の競技にわたる約150年のスポーツ史を振り返りながら、優勝トロフィーやチャンピオンリング、記念メダルなどの貴重な展示品を紹介しています。NFL 優勝チームに贈られる「ヴィンス・ロンバルディ・トロフィー」や、NBA スター選手ケビン・デュラントによる2024年パリ五輪の金メダルなども展示されています。

■ [World at Play at Lincoln Center](#)

ニューヨークを代表する文化施設リンカーン・センターでは本年6月10日～8月8日の間、「World at Play at Lincoln Center」が開催します。サッカーをテーマに多彩な音楽やアートプログラムが用意され、著名なDJ／音楽キュレーターのビル・コールマン監修によるDJイベントをはじめ、フリースタイルフットボールのパフォーマンスやサッカー関連映画の屋外上映会などが実施されます。

マサチューセッツ州ボストン

日本代表がグループステージを突破した場合、準々決勝の舞台となる可能性がある都市が、ボストンです。試合会場となるボストン・スタジアム(ジレット・スタジアム)は、マサチューセッツ州フォックス

ボローに位置する多目的スタジアムで、NFL ニューイングランド・ペイトリオッツおよび MLS ニューイングランド・レボリューションの本拠地として知られています。大会期間中は、ボストン市内各地でもパブリックビューイングやファンイベント、文化プログラムなどが開催されます。

■ FIFA Fan Festival™ Boston

ボストン市庁舎前広場「シティ・ホール・プラザ」では本年 6 月 12 日～27 日の間、「FIFA Fan Festival™ Boston」が開催されます。会場では、パブリックビューイングをはじめ、サッカーをテーマにした体験型アクティビティやボストンのローカルフードなどを楽しむことができます。また、ボストン出身のエンターテイナーやダンスグループ、ミュージシャンによる文化イベント「Cultural Showcase」も開催予定で、多彩なパフォーマンスが披露される予定です。

■ Watch Parties

ワールドカップ期間中、ボストン市内および近郊では大規模なパブリックビューイングイベントが開催されます。ハーバード大学や MIT など知られるケンブリッジ地区各所で催される「Cambridge United」をはじめ、ボストン近郊チェルシー地区中心部の広場、チェルシー・スクエアで開催されるラテンカルチャーイベント「Fiesta de Fútbol」、ボストン北東部リビア地区で開催される「Field of Play Watch Parties」、マールボロやフランクリンなどボストン西部近郊で実施される地域密着型イベント「MetroWest Regional Fan Zones」など、各地で観戦イベントが予定されています。

■ World's Largest Soccer Ball Display

ボストン中心部対岸のウォーターフロント地区、イースト・ボストンのボストン港沿いに位置する公園「ピアーズ・パーク II」では、本年 6 月 12 日～18 日の間、高さ約 14 メートルの巨大サッカーボールが展示されます。マサチューセッツ港湾局が中心となって実施する企画で、“世界最大のサッカーボール”としてギネス世界記録認定も期待される話題のフォトスポットが登場します。

フロリダ州マイアミ

日本代表がグループステージを突破した場合、準々決勝の舞台となる可能性がある都市が、マイアミです。試合会場となるマイアミ・スタジアム(ハードロック・スタジアム)は、フロリダ州マイアミガーデンズに位置する多目的スタジアムで、NFL マイアミ・ドルフィンズの本拠地として知られています。大会期間中は、マイアミ市内各地でもファンイベントやアート展示などが開催されます。

■ FIFA Fan Festival™ Miami

マイアミ中心部のウォーターフロントエリア「ベイフロント・パーク」では本年 6 月 13 日～7 月 5 日の間、「FIFA Fan Festival™ Miami」が開催されます。開放感あふれるロケーションの中、1 日最大約 3 万人の来場を見込む大型イベントで、パブリックビューイングをはじめ、音楽ライブやグルメ、サッカーをテーマにした体験型アクティビティなどを楽しむことができます。

■ FIFA Museum – “Unidad: The World’s Game”

マイアミ中心部の歴史的建造物「フリーダム・タワー」では現在、スイス・チューリッヒに本部を置くサッカー専門ミュージアム「FIFA ミュージアム」による特別展「Unidad: The World’s Game」を開催中です。歴史的なサッカー関連記念品や映像展示、体験型展示を通じて、サッカーが世界中の人々をつな

ぐ力を紹介しているほか、FIFA 加盟 211 協会のユニフォームを集めた「Rainbow of Shirts」展なども実施されています。

■ Get in the Game: Sports, Art, Culture

ペレス・アート・ミュージアム・マイアミでは本年 8 月 23 日まで、特別展「Get in the Game: Sports, Art, Culture」を開催しています。世界各国のアーティストによる 100 点以上の作品を通じて、スポーツが人々のアイデンティティやコミュニティ、社会文化に与えてきた影響が紹介されています。絵画や写真、映像、インスタレーションなど多彩な作品を通じて、スポーツ文化をアートの視点から楽しめる展示として注目を集めています。

ジョージア州アトランタ

日本代表がグループステージを突破した場合、準決勝の舞台となる可能性がある開催都市の一つが、アトランタです。試合会場となるアトランタ・スタジアム(メルセデス・ベンツ・スタジアム)は、NFL アトランタ・ファルコンズおよび MLS アトランタ・ユナイテッドの本拠地として知られる多目的スタジアムで、大会期間中はアトランタ市内各地でもファンイベントや文化プログラムなどが予定されています。

■ FIFA Fan Festival™ Atlanta

アトランタ中心部に位置するセンテニアル・オリンピック・パークではワールドカップ期間中、「FIFA Fan Festival™ Atlanta」が開催されます。1996 年アトランタ五輪を記念して整備された同公園を舞台に、大型スクリーンでのパブリックビューイングをはじめ、音楽ライブやサッカーゲーム、子ども向け体験型アクティビティなど、多彩なプログラムが企画されています。

■ ATL Cultural Exchange

旧 CNN センターを再開発した複合施設「The CTR」では本年 6 月 14 日～7 月 14 日*の間、国際文化交流イベント「ATL Cultural Exchange」が開催されます。ワールドカップ開催に合わせて実施されるプログラムで、ライブパフォーマンスや映画上映、アート展示、ワークショップなどを通じて、アトランタの多様な文化やコミュニティを体感することができます。

※開催日は 6 月 14 日、17 日、20 日、23 日、26 日、30 日、7 月 6 日、14 日の計 8 日間。

■ Atlanta Beltline Fest

アトランタ市内を囲む約 35 キロの都市型トレイル「Atlanta Beltline」では本年 6 月 20 日と 21 日、「Atlanta Beltline Fest」が開催されます。沿線のコミュニティ施設「Pittsburgh Yards」を会場に、パブリックビューイングをはじめ、音楽ライブやダンスパフォーマンス、子ども向けアクティビティ、サッカークリニックなど、多彩なプログラムが実施されます。

カリフォルニア州サンフランシスコ

日本代表がグループステージを突破した場合、ノックアウトステージ(ラウンド 32)の舞台となる可能性がある都市が、サンフランシスコです。試合会場となるサンフランシスコ・ベイエリア・スタジアム(リーバイス・スタジアム)は、NFL サンフランシスコ 49ers の本拠地として知られるカリフォルニア州サンタクララの多目的スタジアムで、大会期間中はサンフランシスコ市内をはじめ、ベイエリア各地でもフ



ファンイベントやパブリックビューイングが開催されます。

■ [Official FIFA World Cup 2026™ Fan Zones & Watch Parties](#)

サンフランシスコ・ベイエリアでは大会期間中、無料で参加可能な FIFA 公式ファンゾーン(ファンイベント会場)が設置され、各地で観戦イベントが開催されます。サンフランシスコ市内をはじめ、ベイエリア各地に計 6 カ所*の公式会場が設置予定で、パブリックビューイングをはじめ、音楽イベントやサッカー体験アクティビティなどが催されます。また、ベイエリア各地のレストランやバー、イベント施設などでも観戦イベントが予定されています。

*スライブ・シティ・アット・チェイス・センター(ミッションベイ地区)、チャイナ・ベイسن・パーク(ミッション・ロック地区)、ピア 39(フィッシャーマンズワーフ地区)、イエルバ・ブエナ・レーン(サウス・オブ・マーケット地区)、ザ・ミッドウェイ(ドッグパッチ地区)、ザ・クロッシング・アット・イースト・カット(イースト・カット地区)

■ [San Jose Opening Weekend at San Pedro Square Market](#)

シリコンバレーの中心都市サンノゼでは本年 6 月 11 日～14 日、複合商業施設「サン・ペドロ・スクエア・マーケット」にてワールドカップ開幕記念イベントが開催されます。メジャーリーグサッカーチーム「サンノゼ・アースクエイクス」主催のもと、パブリックビューイングをはじめ、サッカー体験イベントやゲスト出演企画、プレゼント企画、ファミリー向けプログラムなどが企画されています。

[テネシー州ナッシュビル](#)

日本代表のベースキャンプ地となるテネシー州ナッシュビルでは本年 6 月 1 日～7 月 19 日の間、2022 年に開業したアメリカ最大級のサッカー専用スタジアム「GEODIS Park」にて、「[Summer Kickoff](#)」と題した期間限定イベントが催されます。メジャーリーグサッカーチーム「ナッシュビル SC」の本拠地である同スタジアムを会場に、パブリックビューイングをはじめ、音楽の街ナッシュビルならではのコンサートや、ナッシュビル SC によるサッカー体験イベントなどが開催されます。

このほか、カリフォルニア州ロサンゼルス、ワシントン州シアトル、ペンシルベニア州フィラデルフィア、ミズーリ州カンザスシティなど、各都市でもワールドカップを盛り上げるファンイベントが催されます。ロサンゼルスでは、ロサンゼルス・メモリアル・コロシウムを会場に、パブリックビューイングをはじめ、音楽ライブやグルメなどを楽しめる「[FIFA Fan Festival™ Los Angeles](#)」が開催されるほか、シアトルでは、エリオット湾に浮かぶ特設会場で、水上パブリックビューイングイベント「[Seattle Soccer Celebration](#)」が実施されます。フィラデルフィアでは、イースト・フェアマウント・パーク内の特設会場にて「[FIFA Fan Festival™ Philadelphia](#)」が開催され、パブリックビューイングに加え、カルチャープログラムやグルメなどを楽しむことができます。さらにカンザスシティでは、パブリックビューイングをはじめ、「The Chainsmokers」など人気アーティストによるライブパフォーマンスも予定されているイベント、「[FIFA Fan Festival™ Kansas City](#)」が開催されます。

「アメリカ合衆国は、世界中から訪れるファンの皆様をお迎えする準備が整っています。今回のワールドカップは、スポーツ史においても最大級のイベントの一つとなるでしょう。このような世界的イベントは、旅行者にスタジアムの外へと足を延ばし、アメリカをより深く体験していただく絶好の機会をもた



らします。象徴的な都市や国立公園をはじめ、地域ごとに異なる食文化や音楽、文化、そしてその土地ならではの祝祭ムードなど、アメリカならではの多彩な魅力を体感していただけることを期待しています。」(ブランドUSAのプレジデント兼最高経営責任者(CEO)、フレッド・ディクソンのコメント)

訪米旅行の計画や、ワールドカップ開催都市および周辺地域の観光スポット、文化体験などに関する詳細情報は、一般消費者向け公式ウェブサイト「Visit The USA.com」内の特設ページ(visittheusa.com/ja/football/)をご覧ください。

■ ブランドUSAについて

アメリカ合衆国の公式観光促進団体であるブランドUSAは、戦略的なマーケティング活動および旅行政策に関する情報発信を通じて、訪米意欲の高い海外旅行者を誘致し、米国経済の成長と地域社会の発展に貢献することを使命として掲げています。ブランドUSAは、米国旅行促進法(Travel Promotion Act)に基づき設立され、合法的にアメリカへ渡航する旅行者を対象に、最新の査証および入国関連情報の発信を含むさまざまな活動を展開することで、アメリカ合衆国を世界有数の旅行先として位置づけています。なお、ブランドUSAは、ESTA(電子渡航認証システム)利用者から徴収される費用の一部と、全米各地の観光局、旅行関連ブランド、その他民間企業・団体からの拠出金を財源として運営しており、米国納税者の負担なしで活動を行っています。

また、Tourism Economicsによる独立調査によると、ブランドUSAは2013年以降の13年間にわたり、旅行業界のパートナーと連携して実施してきたマーケティング施策を通じて、訪米旅行者を1,130万人増加させ、約381億ドル(約5兆9,055億円/1ドル=155円換算)の旅行消費を創出しました。その経済効果は累計で829億ドル(約12兆8,495億円)に達し、年間平均4万件以上の雇用を支えています。さらに、これらの取り組みにより、連邦・州・地方政府において累計約110億ドル(約1兆7,050億円)の税収創出にも寄与しています。

当リリースに関するお問い合わせ先

ブランドUSA 日本事務所 (広報担当: 早瀬、水口、野間)
TEL: 03-6261-5385 E-mail: BrandUSAJapan@aviareps.com